



わたしじつは消防吏員



## 私のスタイル

静岡県  
志太広域事務組合 志太消防本部  
星野 有美

### 仕事

平成22年度に消防吏員を拝命。現在は消防隊の機関員として業務、訓練に日々励んでいます。

第46回全国消防救助技術大会では水上の部『人命救助』に出場し、全国一の成績を収めることができました。

今後もしなやかな気配りを大切に職務に従事していきます。



第46回全国消防救助技術大会 仙台・宮城 2017  
主催：一般財団法人全国消防協会・仙台市 後援：総務省消防庁・全国消防長会・宮城県

第46回全国消防救助技術大会  
水上の部に出場した時の様子



### 世界一荒れる海での戦い

みなさんはアウトリガーカヌーって、ご存じですか？日本ではまだメジャーではありませんがハワイ、タヒチをはじめ世界の島国では文化でありメジャーなスポーツです。

その世界最高峰のレースがハワイで開催される『Na Wahine O Ke Kai』。私は日本女子チームの一員として2011年から5回出場しています。この大会は6人乗りのアウトリガーカヌーを10人で交代しながらモロカイ島からオアフ島へ約64キロ（約6時間半）を競うレースです。日本チームの初出場の成績は32位でしたが年々順位を上げ、ついにトップ10（65チーム中）に入りました。

ハワイで開催された  
『Na Wahine O Ke Kai』の様子

### 気持ちを一つに

私は海を読み、カヌーの動きを操る舵取り役（ステア）。ハワイの波は激しく、潮の流れも速いため、一瞬の判断ミスが命取りになります。最悪転覆することも…。そしてこのスポーツで何より大切なのは、漕ぐ全員の気持ちです。忍耐、体力、精神が極限になる中でチームの気持ちが一つになった時、カヌーのスピードは想像を超えた走りを生み出します。

これは、仕事にも通ずるものがあります。隊全員の気持ちを一つに災害現場でより安全確実迅速に活動出来るように毎日の訓練はとても大事なことです。カヌーで極限に追い込まれても冷静に判断できるのは仕事での厳しい訓練のおかげだと思います。周りの方々へ感謝の気持ちを忘れず仕事もカヌーも全力で頑張ります。これが私のスタイルです。



レース後の様子（本人後列右から3番目）